

2006年12月25日

報道関係者各位



株式会社コト

プレスリリース「2007 International CES」 出展のお知らせ

株式会社コトは米 LSI ロジック社と共同で家電・情報・通信・エレクトロニクスに関する世界最大級の家電見本市「2007 International CES^{*1}」於：米国ラスベガス 会期：2007年1月8日（月）～11日（木）」に出展いたします（ブース番号 Central Hall #15044）。皆様のご来場をお待ちしております。

今回の展示では、コトが開発協力した 3D グラフィックス機能を搭載した LSI ロジック製マルチメディアプロセッサ ZEVIO 1020TM*2 の特徴をデモンストレーションを用いてわかりやすくご紹介いたします。ZEVIO 1020TM は 3D グラフィックスや動画再生などの優れたマルチメディア処理のパフォーマンスと低消費電力を安価に両立できる、非常にコストパフォーマンスの高いプロセッサです。ZEVIO 1020TM を用いることで動画対応家庭用カラオケからワンセグ受信機、英語の発音評定システムのような高度な機能が必要とされる装置が安価に実現できます。ZEVIO 1020TM を採用した製品として、子供向け学習娯楽機器「V.Flash Home Edutainment System^{*3}」が V.Tech Electronics LTD.（本社 香港）より米国内で発売開始されています。今回のブースでも同製品を展示し、ご紹介しております。

展示・デモンストレーション内容（予定）

◆ 3D グラフィックスソリューション：

ZEVIO 1020TM で提供される高性能・高機能な 3D グラフィックスソリューションを使用することで、開発の労力を最小限に抑えながら高度な 3D&2D グラフィックスを実現できます。

● リアルタイム 3D グラフィックス・デモンストレーション

一秒間に最大 150 万ポリゴンの描画が可能なパフォーマンスに加え、アルファブレンディング、デプスキューイング、パースペクティブコレクションという多彩な機能を、デモンストレーションを用いてご紹介いたします。

● 擬似環境マッピングデモンストレーション

周囲環境の景色が 3D モデル表面に鏡のように写り込む「環境マッピング」という CG テクニックを、CPU と 3D グラフィックスコアの共同作業によって擬似的に再現するデモンストレーションです。

● リアルタイム 3D グラフィックス+ H.264 再生デモ

H.264 で圧縮された動画をデコードし、リアルタイムで描画される 3D モデルに貼り付けるデモンストレーションです。デコードされた動画像が、あたかも 3D モデルの表面に写り込んでいるかのように見えるのが幻想的です。動画のデコード と 3D グラフィックスを同時に処理できる ZEVIO 1020TM の高いマルチメディア処理能力を体感することができます。

● 3D サウンドデモンストレーション

ZEVIO 1020TM に搭載されているサウンドプロセッサは、HRTF（頭部伝達関数）をデジタルフィルタを通じて再現することにより、音源の位置を三次元空間中でリアルタイムに移動させることができます。ヘリコプターがリアルな 3D サウンドと共に、頭の周りを回るデモンストレーションをお楽しみください。

◆ V.Flash Home Edutainment System：

同製品はテレビに接続して学習機器とビデオゲームを楽しめる学習娯楽機器です。1 台で学習とエンターテインメントを体験できる、革新的なコンセプトのオーディオ・ビジュアル・エンターテインメントシステムで、大容量の CD-ROM で供給されるリッチなマルチメディアコンテンツを楽しむことができます。メイン LSI として ZEVIO 1020TM、ソフトウェア環境としては株式会社コト、株式会社 ACCESS および株式会社エイチアイが三社で共同開発した組込み機器向けマルチメディアプラットフォーム（ μ More[®]、MascotCapsule[®] 他）が採用されています。高度な 3D グラフィックス表示性能を有しながら、販売価格およそ US \$99 という低価格を実現しました。

本件に関するお問い合わせ先：株式会社コト 広報室 播本（はりもと）昌之 / 的場 みどり

Tel：075-212-0321 E-Mail：info@koto.co.jp 弊社ウェブサイト：<http://www.koto.co.jp/index.html>

*1 CES 詳細は公式ウェブサイトをご参照ください。<http://biz.knt.co.jp/pm/ces/>

*2 詳細は弊社ウェブサイトより 2006 年 1 月 2 日付けプレスリリースをご参照ください。

*3 詳細は弊社ウェブサイトより 2006 年 11 月 14 日付けプレスリリースをご参照ください。